

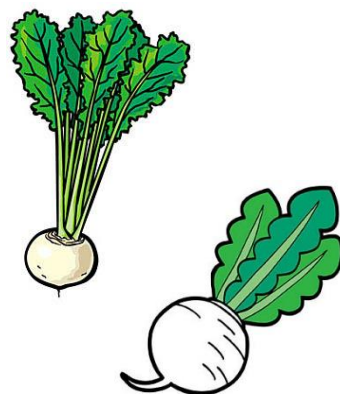
JA 営農情報

№337 令和5年 10月号

かぶ栽培

かぶは大きく分けると小かぶ・中かぶ・大かぶの3つの大きさに分類されますが、品種によっては株間次第で小かぶ～中かぶのサイズに調整できるものもあります。

大きさによってそれぞれ収穫までの日数が異なりますので、好みの品種を栽培してはいかがでしょうか。



■土づくり

種まきの2週間前までに石灰資材を入れてしっかり耕しましょう。特に、根こぶ病が常発している場所では薬剤防除と併せて消石灰の施用をおすすめします。また、未熟な有機物の施用はかぶが不整形になる恐れがあるので、使用しないでください。かぶは水はけが良くて保水性がある土壌を好むため、高うねにして栽培しましょう。

■栽培管理

幅90～100cmの畝に2条で筋まきをし、薄く覆土して軽く押さえてしっかり灌水します。（極端な厚まきにならないように注意してください。）その後は、本葉の数に応じて間引きを行います。間引きが遅れると形が悪くなるので、下記を参考に適期の間引きを心がけましょう。

○間引きのタイミング

1回目・・・本葉1～2枚のとき	株間2～3cm間隔
2回目・・・本葉3～4枚のとき	株間5～6cm間隔

【中かぶ・大かぶの場合】

3回目・・・本葉5～6枚のとき	株間10～15cm間隔
-----------------	-------------

■キスジノミハムシに注意！

右写真のような黄色い筋が背中にある体長2mm程度の成虫で、針で突いたような小さい食害痕をつける他、幼虫は根を食害し、かぶの表面を激しく傷つけます。発生後は抑えるのが困難なので、種まき時に粒剤散布をして予防に努めましょう。



米検査に向けて

■防除履歴の提出

当ＪＡへ玄米を出荷いただく際は、検査日の１週間前までに水稻栽培履歴の提出が必要です。生産したお米が安全であることを証明するために、各作業日や農薬散布日など忘れず正確に記入してください。



■玄米重量

検査に必要な玄米の重量は、検査袋の重さを入れて30.3kg以上です。重量不足の場合は検査を受けることができないため、出荷前に一度ご確認をお願いします。

■水分量

検査時における理想の水分量は14.0～14.9%です。粳摺り後の乾燥は非常に困難なので、必ず粳摺り前に確認しましょう。また、水分量が16.0%を超えた場合は検査規格外となり買取ができないため注意してください。

※水分が不安な場合は計測しますので、営農経済センターまでご連絡ください。

☆みしま館 出荷会員募集のご案内☆

当ＪＡが運営する農産物直売所『みしま館』の出荷会員を募集しています。直売所への持込が困難な方については、営農経済センターへ持込いただくかご自宅へ集荷にお伺いすることも可能です。

少量でも構いませんので自分で育てた農産物を出荷してみませんか？

詳細についてはみしま館までお問い合わせください。 *TEL: 645-7100

《各種相談日のお知らせ》

	法 律 相 談 隔 月 第 2 木 曜 日	税 務 相 談 隔 月 第 4 金 曜 日	住 宅 ロ ー ン ・ 資 産 相 談 毎 月 第 3 土 曜 日	介 護 相 談 随 時 受 付
1 0 月	—	2 7 日	2 1 日	介護に関する 無料相談受付 まずはお気軽 にお問い合わせ せ下さい。 <u>介護支援センター</u> <u>TEL：627-7767</u>
1 1 月	9 日	—	1 8 日	
1 2 月	—	※1 5 日	1 6 日	
【実施場所】 農協会館（ＪＡ茨木市 本店）3階 小会議室 【受付時間】 午後１時～午後４時 定員は <u>3名</u> ですので、事前にお問合せください。 （無料でご相談いただけます） <u>ふれあい・福祉課 TEL：627-7768</u> ※ <u>1 2 月の税務相談は第3金曜日に実施します。</u>			【実施場所】 ＪＡ茨木市 各支店	



ご利用ください

【テレホンサービス】青果物の市況をお知らせします。 TEL: 641-9150

【営農110番】栽培方法等ご相談ください。 TEL: 641-9050